

平成30年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 教授 本多典子

取組状況	
教育	<p>「国語Ⅰ」では、高等学校の検定教科書を用いて、読む・書く・話す等社会生活に必要な日本語の基礎や古典に親しむための基礎的読解力を身につけるよう指導した。現代文分野では、毎時間漢字の小テストを行った。</p> <p>「国語Ⅱ」では国語Ⅰで身につけた能力をさらに深めるべく指導した。特に、小説「山月記」と「こころ」をとりあげ、それらの読解を通して、さらに思考力や表現力を深めるよう指導した。</p> <p>「日本語表現法」では、論理構成や表現方法などに工夫して、説明的文章が正確に書けるよう実践的に指導した。</p>
研究	<p>室町時代物語や中近世の語り物、さらには絵巻物などの多彩な表現様式を研究対象として、その時代における人々の文学的営為のありようを追究している。今年度は、「平家物語」(一方流語り本)の安徳帝入水譚のうち二位尼の語りを対象として取り上げ、異本の表現との比較検討などから表現の特徴や語りの意味を追究した。その内容と結果を、専門を同じくする研究者との研究会において発表し、議論した。</p>
社会貢献	<p>教員シーズ集に情報公開した。 学校見学会・学校説明会に参加した。</p>